

## 2016年度後期授業アンケート集計結果（全体的特徴）

	2016年度後期				2015年度後期			
	教員数		講義数		教員数		講義数	
	対象	実施	対象	実施	対象	実施	対象	実施
専任	47(50)	45	132	120	47(51)	46	127	120
非常勤	66(68)	61	92	86	60(62)	53	83	71
総合計	113	106	224	206	107(113)	99	221	191

注) 教員人数欄は、アンケートを実施すべき科目担当者数、( ) 内は総人数

### 【属性】（設問 1～設問 2）

アンケートに答えた学生（のべ回答者）の内訳は、次表のとおり

学部学科別人数・構成比			
学部	学科	人数	構成比
経済学部	経済学科	953名	16.3%
	公共政策学科	577名	9.9%
経営学部	スポーツ経営学科	3274名	55.9%
	情報メディア学科	1030名	17.6%
科目履修生・交換留学生・聴講生		22名	0.4%
計		5856名	100.0%

学年別人数・構成比		
学年	人数	構成比
1年次	2668名	45.6%
2年次	1709名	29.2%
3年次	1151名	19.7%
4年次	263名	4.5%
5年以上	41名	0.7%
科目等履修生他	23名	0.4%

延べ回答者数／延べ受講者数＝回答率

5,859／8,964＝65.4%（2015年度後期：65.1%）

※以降、文中の（ ）は2015年度後期の割合

### 設問 3. 【板書】

○板書については、「分かりやすい」と回答した割合が45.3%(41.8%)で前回に比べ増加している。「分かりにくい」と答えた7.4%(9.4%)の学生は、板書について「字が小さい」、「字が汚い」、「丁寧でない」、「書く量が多い」、「黒板を消すタイミングが早い」「どれだけ近くの席に座っても、内容がぐちゃぐちゃしていて見づらい」など指摘する声が多かった。ホワイトボードの使用は、「文字が薄くて見づらい」などの指摘もあった。また、板書ではないが、パワーポイントデータのプロジェクター投影についても、「教室が暗くてノートに書き込みづらい」、「スライドの文字が小さい」「スライドの切り替えが速い」などの指摘があった。しかし、「パワーポイントを使った説明はわかりやすい」「パワーポイントを使っていたので理解しやすかった」との記述もあることから、今後は、情報機器を活用した講義ができるように整備を進める必要があると考える。また、「詳しくレジュメにまとめられていてわかりやすかった」、「レジュメがあり助かりました」「テスト勉強しやすかった」などの意見があることから、板書する場合でもレジュメなどの資料を配布することで、学生の理解度が向上するのではないかと考える。

#### 設問 4. 【話し方】

○教員の話し方については、「分かりやすい」が 61.8%(58.7%)、「わかりにくい」と答えた 7.8%(8.5%)ともに前回に比べ増加している。「わかりにくい」と答えた学生の具体的理由としては、「聞きとりにくい」、「しゃべるのが早い」といった記述があった。また、「声が大きすぎて聞きづらい」や「声が小さい」という記述から、教室に合わせてマイクを使用するなどの対応も大切であると考ええる。

#### 設問 5. 【授業の進め方】

○学生が理解できているかを確認する工夫として、毎回具体的選択肢を設定しているが、今回は特に「小テストの実施」が 21.4%(18.6%)と前回より大幅に増加している。「毎回小テストがあるので復習できる」との記述も多数あり、小テストの重要性がうかがえる。しかし、「学生との問答がある」が 29.3%(30.5%)、「前回の振り返り」が 28.1% (28.6%) と前回よりも減少している。「質問にも適切に答えてくれて理解がより深まった」「前回の復習を行うので授業が受けやすかった」などの意見もあるため、学生との問答や前回の授業の復習を今後も積極的に行い更なる学生の理解度を高める事が大切であると考ええる。「質問に対する適切な回答」 10.5%(10.6%)などほぼ前回どおりの割合で実施されている実態を確認できた。「ほとんど一方的だった」と答えた割合は 10.7%(11.6%)と減少している。しかし、「ほとんど一方的な授業だった」「一方的に先に進むので難しかった」という記述もあり、今後さらなる改善が必要だと考える。

#### 設問 6. 【授業環境】

○教室内の授業環境については、72.8%(68.0%)が「常に静穏」と大幅に増加している。最後の設問「良かったと思われる点」でも「静かな環境で受けやすい授業」「携帯電話等の使用が不可により、集中して講義を受けることができた」と評価する回答が多数あった。しかし、「私語や携帯電話の使用が常にある」との回答が 3.9%(4.8%)であり、記述回答には、「私語を徹底的に注意してほしい」「周りが非常にうるさかったので改善してほしい」など教員の対応を求める声もあることから、更なる授業環境の改善が必要であると考ええる。

#### 設問 7. 【授業の予習・復習】

○予習復習をどの程度行っているのかについては、1 時間以上と回答した学生はわずか 11.6%(10.1%)であったが、前回よりも若干増加している。「ほとんどしない」の割合も 58.2%(59.8%)と減少している。前回よりも改善したとはいえ、授業の予習復習をして理解を深める習慣が備わっていない学生が多いといえる。「ミニテストは毎回宿題にすると良いと思う。」など宿題を求める意見もあることから、学生が予習復習しやすいように具体的な課題を出すなど対応が必要であると考ええる。

学科別には、スポーツ経営学科は予習復習をしていない割合が 64.3%(71.3%)、情報メディア学科では 46.7%(52.4%)、経済学科 51.0%(61.3%)、公共政策学科 57.3%(61.7%)と、前回どおり学科による差異がみられた。これは、学科の専門性によるものと考ええる。

## 設問 8. 【授業の難易度】

○授業の難易度は、「理解できる」41.2%(42.8%)、「十分に理解できる」34.0%(29.0%)をあわせた75.2%(71.8%)が授業を理解できており、前回は上回る結果となったが、それでも「やや難解」20.6%(23.6%)、「難解すぎて理解できない」4.3%(4.6%)など大よそ教室内の3割弱の学生が理解できずに授業を受けている。また反対に、「テストをもっと難しくして欲しい」との意見もあることから、学生の理解度に合わせて追加資料を配布や、予習復習のための課題を出す必要があると考える。

## 設問 9. 【授業満足度】

○授業の満足度は、「満足も不満もない」が23.4%(24.2%)で、「まあまあ満足」34.1%(36.7%)、「非常に満足」37.7%(33.3%)をあわせた「概ね満足」者は例年どおり9割を超えている。特に、非常に満足が大幅に前回は上回る結果となった。「やや不満」3.0%(3.6%)、「非常に不満」1.6%(2.1%)を合わせた「不満」者が4.6%(5.7%)がやや減る結果となった。アンケートからも、「先生が優しく質問をしたら何でも説明してくれます」「質問に答えて下さるので、とても楽しい授業でした」との記述が多数あり、今後も学生とコミュニケーションを取りながら授業を行うことが授業満足度向上の手段の一つであると考えられる。

## 設問 10. 【良かった点、改善してほしい点（抜粋）】

<良かった点>

- ・レベルに合わせて説明がありとても理解できた
- ・レジュメが穴埋め式になっていて理解が深まった
- ・指名して答えさせるので緊張感があって良い
- ・外へ出かけて調査することでより知識が深まった
- ・企業の方など外部の方の話が聞けて良い
- ・体験談や具体例で説明があり理解しやすかった
- ・毎回、小テストを行うので復習にもなった
- ・グループワークがあって交流や知識を深められた
- ・DVDなどの映像を使った授業が楽しく学べた
- ・質問に分かり易く答えてくれた

<改善してほしい点>

- ・先生が遅刻をしてくる 時間どおり始めて欲しい
- ・講義を延長するのはやめてほしい
- ・出席カードを配るのに時間がかかり授業の時間が短くなる
- ・教科書をあまり使わない
- ・授業に関係の無い話が多い
- ・威圧的に話されるので授業が楽しくない
- ・授業の進行が早すぎる ゆっくり進めて欲しい
- ・寒すぎたり、暑すぎたりするので空調管理をしてほしい
- ・最後のレポートを書く時間が短いので時間配分を考えてほしい
- ・作業の途中で説明や出席を取るのをやめてほしい